

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

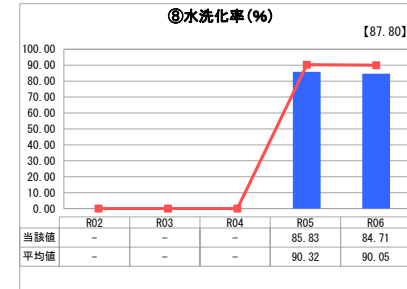
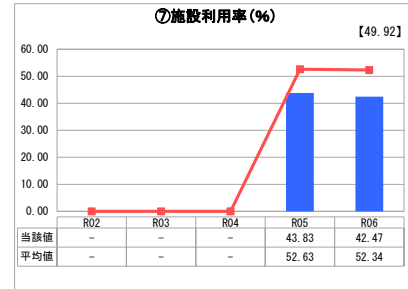
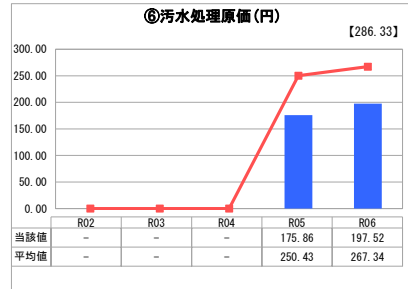
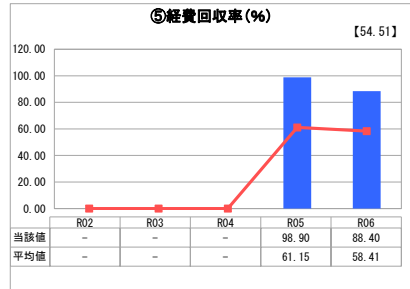
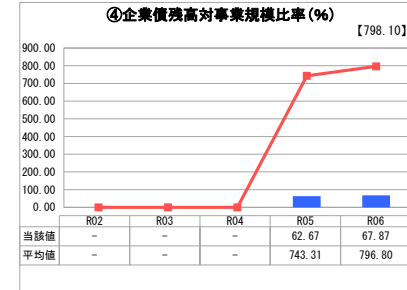
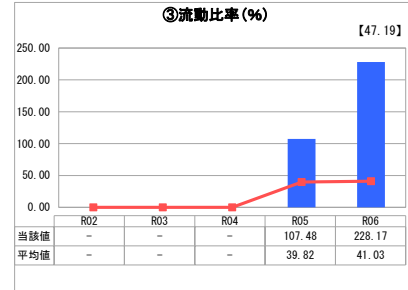
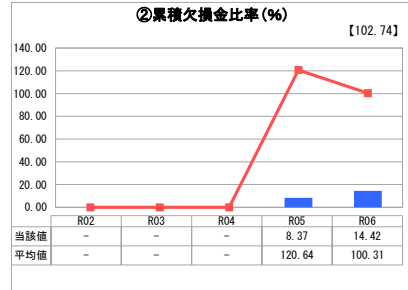
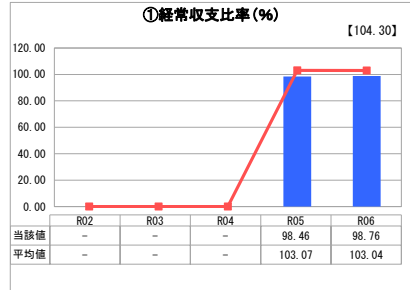
宮城県 丸森町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	96.41	13.71	99.56	3,470

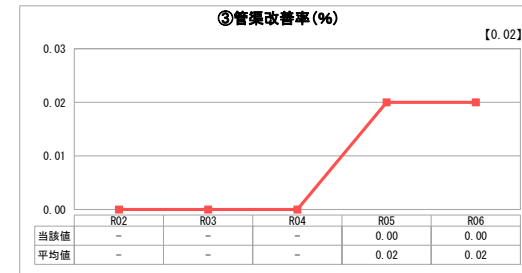
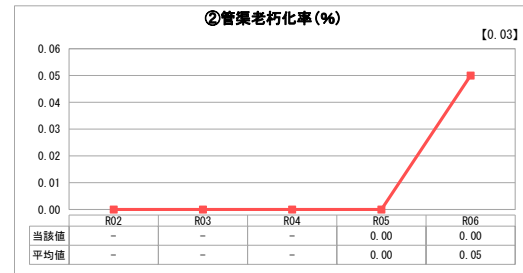
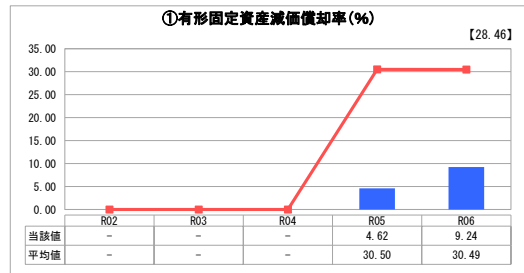
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
11,571	273.30	42.34
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,570	1.09	1,440.37

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は100%を下回っているため、経費節減や財源確保などの経営改善に努める。
- ② 累積欠損金比率は14.42%となっており、経営健全に努め累積欠損の解消をする必要がある。
- ③ 流動比率は100%を上回っており、支払い能力は備えている。
- ④ 企業債残高対事業規模については、類似団体と比較して低い数値であるが、経営の合理化と一層の経費削減に努め計画的な企業債の発行に努める。
- ⑤ 経費回収率は類似団体と比較して高い比率ではあるが、100%を下回っているため、経費節減や料金改定の検討を行っていく必要がある。
- ⑥ 汚水処理原価は類似団体と比較して低い数値で推移している。今後も、投資の効率化や維持管理費の削減、接続率の向上を図っていく。
- ⑦ 施設利用率は類似団体と比較して低い比率である。今後耐用年数を考慮しながら公共下水道への接続など検討していく。
- ⑧ 類似団体と比較して低い比率になっているため、使用料収入確保の面からも、未接続者への啓もう活動を図る。

### 2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産原価償却費率は類似団体に比べ低い指標となっている。
- ② 法定耐用年数を超える管渠がまだ無いため、管渠老朽化率は0%となっているが、汚水処理施設が3カ所あるため計画的な維持管理に努める。

今後は施設の老朽化が進んでいくため、施設更新など計画的に行っていく。

## 全体総括

農業集落排水事業は公共下水道事業と併せて令和5年度に公営企業会計へ移行している。  
 汚水処理施設は3箇所あるが、人口減少が進んでいる地域であるため、今後は施設の統廃合や公共下水道接続への接続を検討する。また、更なるコスト削減を行うとともに、経営戦略に基づいた計画的な施設の更新を進めるとともに、料金改定の検討も行っていく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。